



2020年3月18日 鹿見島大学稲盛記念館ベジマルシェに於いて 設立総会に向けての会次第と内容説明等について協議する。総会事前に主要な委員会担当者には役割を伝えて、確認をしてもらう議案で一致した。総会に関するロータリークラブの細則・規定等の取り決めを行う。チャーターナイト認定証伝達式の日付変更を協議7月6日(月)とする。

2020年3月25日 鹿見島大学稲盛記念館2階に於いて、設立総会に向けての最終打ち合わせを行う。新クラブの主要委員会の担当者と役割確認の打ち合わせを行う。設立総会は、参加人数は新クラブ入会予定者(チャーターメンバー)33名・準備委員会各位8名・親クラブ(鹿見島中央ロータリークラブ)理事会各位10名・川原パストガバナー(増強委員長)・鹿見島大学学長佐野輝氏の53~55名が参加予定となる。

- 確認事項
◎設立総会について(4月9日 18:00より)
鹿見島大学稲盛記念館3Fに於いて
・クラブ情報
・クラブ会則
・国際ロータリー定款とロータリー細則
・加盟クラブとしての諸義務
◎2730地区国際ロータリー加盟証伝達式(7月6日17:00より)
鹿見島大学稲盛記念館に於いて
・講演会
・セレモニー
・設立祝賀会、交流会

スマイル・ボックス

- 海江田 順三郎君/結婚記念のお祝いを頂き有難うございます。昭和31年の春に式を挙げましたので、もう60年余りになります。何でも二人で一人前になり英語のベターハーフの意味がよく判って来ました。
●里 良男君/3月11日が結婚記念日です。今や、記念日を祝ってくれるのはロータリーだけです。お祝い有難うございました。
●石塚 俊雄君/テレビや新聞に縁のない山の猪は至って元気で我々の獲物になるのを拒絶しております。何はともあれ、皆さん!コロナウイルスに負けない様、気を「ハシッ」と持ち、治まる迄張りましょう。
●池島 泰光君/先日は孫の卒園式と小学校入学祝いを家族で行いました。一番最初の「孫」と云う事もありとても嬉しく感動を致しました。こんな時節だからこそお祝い事やめでたい事はどんどん行い早く人が行き交う賑わいの街



を取り戻したいものです。今日は鹿見島大学アカデミー RC 設立の経緯を報告致します。明るい話題ではないかと自負しています。楽しみにお聞き下さいませ!
●竹添 寛君/誕生日祝ありがとうございます。例年なら誕生日祝をしてもらっているのですが今年はコロナの関係で中止になりました。プレゼント頂いてロータリーに感謝です。
●宇都 和治君/結婚記念日の御祝い有難うございます。はるかかなたの出来事で嬉しくも悲しくもありません。賞味期限が切れて数十年ベッドインするのは愛犬「ゴン」の豆柴犬です。
●宮脇 謙舟君/結婚記念お祝いありがとうございます。来年もいただける様、がんばります。
●星原 一弘君/結婚記念日祝いありがとうございます。気が付けば、35回目になります。これからも適度な距離感を保ちながら、お互い元気に15年先の金婚式を迎えたいと思っております。

3月16日のスマイル 小計 25,000円 2019~2020年度 累計 606,223円

ロータリーソング:「それでこそロータリー」
職業宣言唱和:3・4
食事:「百万ドル食事」
会長の時間:会長 坂元 直人君
結婚記念御祝い:宇都和治君(9日)・里 良男君(11日)
原田正弘君(13日)・海江田順三郎君(15日)
星原一弘君(21日)・宮脇 謙舟君(22日)
会務報告:幹事 川路 理幸君
1)本日の配布 ①週報 ②新入会員候補者用紙
2)配布しております新入会員候補者
・牛田 篤志(うしだ あつし)
⇒共同組海運(株) 代表取締役
入会について異議のある方は、本日から7日間の内に幹事までお申し出ください。お申し出のない場合は異議のないものと認め、入会の手続きに入りますので、ご了承ください。
3)今後の日程については本日臨時理事会にて協議し、後日連絡いたします。
予定通り開催される場合、次週の予定については次の通りです。
①次週3/23(月)例会プログラム
会員卓話=中間賞志君「民法改正」
②3/23(月)学習会及びラウンドテーブル(FAX済み)

第1971回例会記録 3月16日(月)

18:30~ 場所:ごはんのじかんinatome
出欠のご回答が未だの方は、事務局までご連絡ください。
4)RCC例会については、現時点では開催されるとのことで。
3/22(日) 11:00~天文館松山通 リンクビル9階
氏名出席者 => 林・肥田木 各会員
スマイルボックス:出席委員会
委員会報告:親睦委員会
卓話:会員卓話「鹿見島大学アカデミーロータリークラブ設立について」
坂元 直人君:理事会決議事項について(10分)
橋元 隆君、池島 泰光君、海江田順三郎君:
準備委員会の経過報告(15分)
質疑応答(5分)

次回例会 令和2年6月1日(月)
会員卓話「フリートーク」

Table with 4 columns: 出席率, 会員数, 出席数, 出席報告. Data for 1971st meeting and previous meeting.

本日のプログラム 会員卓話=「フリートーク」

5月 青少年奉仕月間 前回例会出席率 57.14%

会長の時間

坂元 直人



みなさん、こんにちは。連日、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う影響についての報道が相次いでおります。私の業務には今のところそれ程、影響はありませんが、平時よりも電話が鳴る回数も事務所の来訪者数も減っているような印象です。裁判所は当局からの通達で、裁判官、書記官等が業務中マスク着用が指導され、裁判所の大半の方がマスクを着用して業務に従事している状況です。私は今までマスクを着用することは個人的に好まず、自分が風邪を引いた時以外はマスクを着用した経験はなかったところです。ただ、今回は裁判官も公開の法廷以外はマスクを着用していることが多く、相手方の弁護士もマスクを着用していることもあり、マスクを着用しないと何かエチケットに反するような気がして、裁判所での弁論準備期日等の際はマスクを着用するようになりました。先週、割と大きな破産の債権者集会に出席をしましたが、裁判所の参加者全員がマスクを着用し、机の距離を出来るだけ離し、各机には1名のみ着席させ、集会前は窓を全開にする対応を取っておりました。ウイルス対策で今まで裁判所がここまで警戒したことは初めてであり、裁判所で感染者が出ないようかなり神経を使っている状況です。新型コロナウイルスの影響は飲食関連、建設関連、観光関連等にも大きな影響を与えており、先行きに不安を抱いている経営者の方は周りに沢山おられます。私も元々予定を組んでいた会合や飲み会等が全て延期か中止になり、できるだけ出張を避けるため、県外の裁判は電話会議に変更するなどの対応を取っております。この前、事務所に僧侶をされておられる方が相談にいられました。この方は「今回のような危機的な状況こそ各人の人間性が問われる。冷静に対応すること、困っている人に労わりの気持ちを持って接し、実際に協力をしてあげることだ」と述べておられ、私はこの方のこの言葉に感動をしました。巷では、トレットペーパーが中国で生産されていると

SNSでデマを流す方、デマに踊らされて過剰な在庫を自宅に置こうとする方、誰が感染者だとSNSでデマを流す方、マスクを転売し多額の利益を稼ごうとする方、自身が新型コロナウイルスに感染していると知りながら故意に感染を拡大させようとする方等々、今回の危機的な状況下で人間の汚い部分が否が応でも見えてしまっているのが実情です。最も醜い対応は新型コロナウイルス感染者や感染が疑われる方、感染者が勤務している企業等への差別や偏見であり、差別や偏見の蔓延はウイルスの蔓延以上に致命的だと個人的に思っております。私にできることの一つ目は、私の事務所を頼って来られている依頼者の方々に今までと何ら変わらない法的サービスを提供し続けられるよう努力をすることだと思っております。事務所には色々な方々が入り出りますが、私が事務所でマスクを着用したまま相談に乗ることは失礼に当たると思っていますので、マスクを着用したまま相談に乗ることはしておりません。ただ、日々、感染する可能性は皆無ではありませんので、一日に何回か体温計で自身の体温を測り、体調に変化がないか常に気を付けるようにしております。あと、皆さんも感じておられると思いますが、どこのお店もお客さんが少なくなっている印象です。現在の状況下で頻りに外出に出ることは難しいところですが、お昼の時間帯は出来るだけ馴染みの店に顔を出すようにし、二次会なしの2から3名程度の会食は週に1回程度は入れるようにし、お世話になっている方々や実際に会い、昔から付き合いのあるお店に出来るだけ顔を出すようにしております。今回のような危機的な状況におきましては、お互いが助け合うことが大切であり、我がクラブにおきましても助け合いの精神を持って会員相互間で交流を持って頂くことを希望させていただきます。最後に、今後の当クラブの例会をどうするか等につきましては、理事会で慎重に協議し、決定する予定であり、改めて会員の皆様方へご連絡させて頂く予定です。早く今の危機的な状況が落ち着き、世の中が落ち着きを取り戻すことを祈らせて頂き、会長の時間とさせていただきます。以上です。

鹿見島大学アカデミーロータリークラブ設立について

■坂元 直人
みなさん、改めましてこんにちは。本日は「鹿見島アカデミーロータリークラブ」についての先週の当クラブ理事会の議決内容につきまして、会員の皆様方にご報告をさせていただきます。「鹿見島アカデミーロータリークラブ」の創設につきましては、従前、準備委員会の方で全てを取り仕切っておられ、会員の皆様方には内容の周知がされていないように思います。「何をやっているんだ」と不安に思っておられる会員の方

も中にはおられるのではないかと思います、このような報告の場を設けさせて頂いた次第です。先ず、前半で私の方から理事会の議決内容につきまして、皆様方にご報告をさせて頂きまして、後半の方で準備委員会の方に「鹿見島アカデミーロータリークラブ」のこれまでの経過につきまして、皆様方にご報告をさせて頂き、最後に質疑応答の時間を設けたいと思っております。理事会の議決内容の前に、私が把握する経過につきまして、簡単にご説明をさせていただきます。「鹿見島アカデミーロータリークラブ」の創設の話が最初にあったのは、私の記憶では昨年4月26日の年輪会の席だったと記憶しております。

昨年7月の当クラブ定例理事会におきまして、「鹿児島アカデミーロータリークラブ」を創設するための準備委員会を立ち上げることが理事会で正式に決議されました。

準備委員会の当初のメンバーは委員長が海江田会員、副委員長が池島会員、その他の会員が加島会員、楯会員、橋元会員、田中会員という構成になっております。

その後、準備委員会の方々は創設に向けて熱心に活動をされ、活動内容が定期的に理事会に報告はされましたが、何をどうするという正式な理事会の決議はないまま推移をしたというのが私の認識になります。

「鹿児島アカデミーロータリークラブ」につきましては、市内分区の会長幹事会では正式な決議は未だされておりませんので、過日の当クラブの理事会の決議内容を会長幹事会に報告し、何らかの議決をして頂く必要があるのではないかとというのが私の見解となります。

それでは先週の理事会の決議内容を皆さんにご報告をさせていただきます。

先ず、当クラブは鹿児島アカデミーロータリークラブの設立に際して、スポンサークラブとして正式に関与することと、スポンサークラブという概念が当クラブが鹿児島アカデミーロータリークラブの設立に際して親クラブとして関与することが決議されております。

次に、元々、鹿児島アカデミーロータリークラブの設立に当クラブが関与する当初の目的がローターアクトの増員にありましたので、鹿児島アカデミーロータリークラブにこの点について必要な協力要請を行うということが決議されております。

鹿児島アカデミーロータリークラブが設立を準備する際、色々な事務作業が生じますので、当クラブの事務所と備品類を使用することを認めることが決議されております。設立後にどうするかは決められておりません。

鹿児島アカデミーロータリークラブに当クラブからチャーターメンバー等は出さず、事務局等の人的資源や金銭的資源の提供は基本的には行わないということが決議されております。鹿児島アカデミーロータリークラブに対して例会運営等の必要な指導は行わなければなりません、この点を誰が行うかについては決議はされておらず、都度、理事会で協議をしていかないといけないと思っております。

準備委員会の方々は、鹿児島アカデミーロータリークラブについて年輪会や市内分区の会長幹事会で説明を求められた場合、説明責任をきちんと果たすということが理事会で決議をされております。

最後に、準備委員会の方々は、理事会から求めがあった場合、鹿児島アカデミーロータリークラブについての情報を全て開示し、進捗状況等について理事会に説明をしなければならぬということが決議をされております。

以上が先週の理事会での決議内容になります。理事会の議事録につきましては定款や細則には明確な規定はないようですが、会員の方々は自由に閲覧もできますし、謄写もできるのではないかとというのが私の個人的な意見ですが、この点は理事会で少し協議をする必要があると思っております。

今回の「鹿児島アカデミーロータリークラブ」についての私の個人的な見解を最後に述べまして、私からの報告を終わりにさせていただきますと思います。

「鹿児島アカデミーロータリークラブ」につきましては、これまで当クラブの会員に対する情報開示や正式な説明がなされておらず、会員の中には「何をやっているんだ」と不安に思ったり、異論や反論を持たれる方もおられたのではないかと推測します。

皆さん、共通した認識を持たれていると思いますが、私どものクラブは会員相互の仲が良く、クラブ内に派閥も対立もなく、和気藹々（わきあいあい）としたクラブであることが最大の魅力になります。

私は、「鹿児島アカデミーロータリークラブ」の問題で、会員内に些かでも対立が生じてしまうことが一番の問題であると懸念をしております。

この前の理事会の決議は、この点の問題を回避しようと理事会で十二分に協議がなされ、構成員の全会一致で議決をされたものになりますので、会員の皆様方におかれましては、この点を十分ご斟酌頂き、この点についてご理解を頂きたいと思っております。

私は、従前、準備委員会に所属はしていませんでしたが、理事会で決議をされた以上は、私の年度の行事として最大限

の協力をさせて頂くことをこの場でお約束させて頂き、私からの報告とさせていただきます。以上です。

■ 海江田 順三郎

前年度は宮崎中央 RC の提唱で宮崎大学にアカデミー RC が創立されました。宮大の池之上学長は鹿大 OB で鹿児島市立病院在職中に、当クラブの故大津パストガバナーが世話されたロータリー財団の奨学生として、米国に留学され新しい周産期医療を研修され、帰国後に山下家の五ツ子出産を成功されて全国的な話題になりました。このような因縁とあって、池之上学長も鹿大の RC を望まれておられました。

新クラブの創立には25名以上の新会員の募集と、相応の準備金が必要ですが、宮大に倣って大学の教職員だけでなく大学に物品を納入する企業の経営者も会員になってもらい、すでに30名を越える候補者が確定されています。準備金に関しても川原直前ガバナーが、今後の新クラブ創立のために相当な地区準備基金を設けてもらいましたので、提唱クラブは従来のような負担は無くなりました。

申すまでもなく大学は高等教育機関として知性の府であります。特に地方の国立大学は地方創生の支柱であり、活性化の主役を担っています。又、シンクタンクとして人材を育成し、若者の地元への定着を図らなければならず、このために地方自治体や地元企業との産官学連携が必要とされます。所で以前鹿児島 RC に入会された鹿大医学部教授の寺脇保先生が「自分たちは人間の体については判っているが、人間の心については不勉強なので、会員同志が心から付合うロータリーには貴重な場だ」と述懐されていました。

また、忘れてならないのは、鹿児島中央 RC の創立当時に、地区ガバナーであられた鹿大工学部教授の塘一郎先生に何かとお気遣いをいただき、最初のクラブ協議会では夕方から午後10時すぎまで熱心にご指導いただきました。鹿大アカデミークラブに関してはローターアクト会員の増強の他、海外に50校余りある交流校所在地の RC との情報交換や、ロータリー財団の世界社会奉仕（WCS）のプログラム参加など期待されます。

■ 池島 泰光

鹿児島大学アカデミーロータリークラブ設立にあたり、鹿児島中央ロータリークラブ会員の皆様に説明会の機会を頂き、ありがとうございます。以前から、この機会を心待ちしていました。

私は、鹿児島中央ロータリークラブに入会して15年になります。お陰様で沢山の経験と体験の学びをさせて頂いております。中でも忘れられないのは、入会して3年目、2009年4月18日に開催された「青少年指導者養成研修会」ライラの実行委員を携わった事です。ローターアクトの皆さんを中心に各会員企業の若手社員を含めて総勢100名以上が参加されて一泊二日で桜島ユースホテルで講演会・宿泊、早朝からの掃除と体操、そして桜島を周遊するクルージングで新島（湾奥の島）の視察とレクリエーションやダンスなどで交流を深めて参加者全員がロータリーを知り合い、ロータリーアンとの繋がりができました。それ以来、ロータリークラブへの関わりに行こうと思うようになりました。微力ではありますが、携わって喜こうと思うようになりました。

2018～2019年には、鹿児島中央ロータリークラブの会長を拝命させて頂き、とても光栄で誇りに思いました。2730地区の地区会「PET」・「RLI」（リーダーシップ研究会）や市内会長幹事会にも出席して市内クラブの活動を聞いたり交流を深めたり致しました。2019年2月24日には、環境未来館に於いて、2730地区初のロータリーデーを開催しました。趣旨は、ロータリークラブを市民に広めるイベントでした。

この度、鹿児島大学アカデミーロータリークラブの設立には、鹿児島大学の佐野学長をはじめ、文科省任命の伊牟田監事の多大なる御尽力を賜り今日に至りました。先ず、大学側からの要望は、外部との交流を深めて、市内クラブとの繋がりを作りたい、「産・官・学」を通じて米山奨学生の更なる支援を強化していきたい、将来的には、海外ロータリークラブとの交流にも繋げていきたいと積極的な取り組みをされておられます。

鹿児島中央ロータリークラブとしても、今後の「会員増強」や「ローターアクトの会員」確保には、苦慮が見られます。そして、何より地元企業に就職する学生の少ない事です。地域に貢献して地域経済に役立つ人材を育てる為の経済界との交流と友好な関係を築く事を目的としていきたいと考えます。

現在、鹿児島大学には、「法文学部」「教育学部」「農学部」「水産学部」「医学部」「工学部」等、9学部と10の大学院があります。急激に進む国際化対応が出来る学びを進めて、海外への奨学金などを持ってグローバルに通用できる人材派遣なども行っています。地元企業経営者との交流を深めて実践に役立つ資質の向上と現場力を学び合い、例会を通じて、今後は鹿児島中央ロータークラブをスポンサー（親クラブ）として支えて頂き、今後の鹿児島市内のロータリークラブの活性化と持続可能なクラブ支援に繋がって行くのではないかと思います。鹿児島中央ロータリークラブ会員各位の皆様のご寛大なる心意気を持ちまして、御理解と御協力を宜しくお願い申し上げます。

設立までの経緯につきましては、別紙に記載の通りでございますので、御参照ください。

鹿児島大学アカデミーロータリークラブ経緯

2019年5月17日

新クラブ発足に向けてのプレゼンテーションを開催した。出席者は、ロータリークラブ会員川原パストガバナー、海江田パストガバナー、山下皓三パストガバナー、他6名、鹿児島大学から佐野学長、伊牟田監事、他6名出席して新クラブ結成への地域を探す。

2019年5月20日

5月定例理事会を山形屋開開の間で開催。その他の事項に於いて、鹿児島大学アカデミーロータリークラブの発足について提案をする。

2019年6月3日

新旧合同理事会がホテルグランセレッソ鹿児島きずなで開催。

新ロータリークラブ、鹿児島アカデミーロータリー（仮）創設について状況報告のみを行い、今後についての検討がなされた。

2019年6月11日

2018～2019年「新旧会長幹事会」の第7回目の会合がレンブラントホテル（鴨池）に於いて開催。その他の事項で鹿児島市内のロータリークラブ新旧会長幹事会の出席者に新クラブ発足に向けてのプレゼンテーションを「鹿児島大学学長室」に於いて開催した旨を加島幹事より報告して、発足に向けての準備委員会を立ち上げたいとの協力の要請をした。

2019年6月7日

鹿児島大学より鹿児島大学アカデミーロータリークラブ創設に向けて1年後の設立に向けての準備委員会設置の具体的な人員の割り当てが提案された。鹿児島大学側 3～4名（理事・監事・事務局）ロータリークラブから3～4名（理事・会員）双方のメリットと今後の運営については、準備委員会設立後協議する事とした。

2019年8月

新クラブ設立に向けてのアドバイザーを海江田パストガバナーと川原パストガバナー、楯R I 委員を選出する。

2019年8月19日

山形屋7F例会場に於いて鹿児島大学の伊牟田監事、平野総務部長が鹿児島中央ロータリークラブ通常例会見学。

2019年10月30日

鹿児島大学本部第2会議室に於いて第1回鹿児島大学アカデミーロータリークラブ設立準備委員会会議を行う。

出席者10名（議事録参照）

2019年11月11日

11月定例理事会山形屋7F開開に於いて、出席する海江田パストガバナー、池島理事が現在までの新クラブ創設の経過報告をする。

2020年1月17日

鹿児島大学稲盛記念館ベジマルシェに於いて鹿児島大学アカデミーロータリークラブの新クラブ設立メンバーを35名募り、名簿作成を行う。役員選出を協議。

2020年2月4日

鹿児島市内ロータリークラブ会長の幹事会・東急レイホテル新クラブ発足の経過報告と設立メンバーを提出して鹿児島中央ロータリークラブ会長坂元会長より川原パストガバナーに新クラブへ設立予算の打診要請をする。

2020年2月6日

新クラブ準備委員会を開催（山形屋7Fピストロルームに於いて 13：00～）出席者 海江田・楯・橋元・加島・池島・安部（事務局）・川原・池田・伊牟田・平野新クラブ設立までの申請書作成等の事務手続きについて協議

令和ロータリークラブの立ち上げまで御尽力した経験のある毎床澄子氏を川原パストガバナーに紹介を受けて説明を拝聴する。

2020年2月6日

今後の決定事項を協議事務局の件について、パソコンの入力作動を共有するかどうかで協議する。事務局の所在について、誰が何処で所有するか。（案）山形屋中央ロータリークラブ事務局内通帳等の金銭取り扱い（会費等）はどうするか。（通帳は2通）設立メンバー（新会員）現在3月10日付（別紙参照）役員の選出を協議する（3月13日締切）
会長 岩井久氏
会長エレクト 馬場昌範氏
幹事 萩原功一郎氏
会計 大武英司氏
S A A 川原結樹氏
アドバイザー 海江田順三郎氏
伊牟田均氏

2020年3月2日

鹿児島中央ロータリークラブ定例理事会でスポンサークラブ（親クラブ）として正式に承認される。鹿児島大学アカデミーロータリークラブの認証伝達式が完了して新クラブが発足までは中央ロータリークラブ事務局の備品関係、その他必要な物は協力要請することで承認。

2020年3月11日

鹿児島大学稲盛記念館ベジマルシェにおいて、設立チャーターメンバーの入会リストを照会32名が入会予定者となる。

2020年3月16日

山形屋例会場に於いて鹿児島中央ロータリークラブ例会「鹿児島大学アカデミーロータリークラブ」設立に向けての経緯と経過報告を坂元会長・橋元理事・池島理事・海江田パストガバナーが説明する。

質疑は、石塚会員・丸元会員・竹添会員より「発足目的」「年会費」「会員継続」「収支予算」等を問われるが全てを善処して遂行するに至る。